



年 組 名前

道新で
ワークシート海外災害に備え救助訓練
市消防局、道警合同で

コンクリート壁を切断する訓練参加者ら

札幌市消防局は20日、海外で大規模災害が発生した際に現地に向いて活動する「国際消防救助隊」の訓練を札幌市消防学校(西区)などで行った。

国際消防救助隊の登録隊員11人を含む市消防局隊員39人と、道警機動隊特務中队員5人が参加。11人ずつのチームに分かれ、倒壊した共同住宅を想定した厚さ20センチのコンクリートに削岩機で穴をあけ、閉じ込められた人に見立てた人形を取り出す訓練などを行った。

登録隊員で、11人のチームの小隊長を務めた高山博さん(48)は「海外では他国との協力が大事。今日は道警などと混成チームをつくり、いつもと違う隊で臨機応変な対応を訓練した」と話した。

市消防局は道内で唯一国際消防救助隊に登録されており、総務省の要請を受け、出動する。地震災害の救助で1996年にエジプト、2009年にインドネシアへ隊員を派遣した。

(石川実和)

2018年8月21日朝刊札幌市内版(記事は再編集しています)

①これは、外国で大きな災害(さいがい)が起きたときに現地(げんち)で活動する人々のための訓練です。どのような立場の人が訓練に参加しましたか。

②異(こと)なる立場の人がいっしょに訓練を行う良さは、どのようなことだと考えられますか。